

2016年10月24日

東横線跡地開発「渋谷駅南街区プロジェクト」の施設名称が
「渋谷ストリーム (SHIBUYA STREAM)」に決定
～ 事業コンセプトは「クリエイティブワーカーの聖地」～

東京急行電鉄株式会社

当社および東横線隣接街区の権利者が推進し、2018年秋の開業を予定している開発事業「渋谷駅南街区プロジェクト」について、施設名称を「渋谷ストリーム (SHIBUYA STREAM)」に決定しました。

「渋谷ストリーム」は、旧東横線渋谷駅および線路跡地とその周辺敷地に位置する高さ約180m、延床面積約116,700㎡の大規模複合施設です。事業コンセプトを「クリエイティブワーカーの聖地」とし、渋谷エリア最大級(総賃貸可能面積約14,000坪)のオフィスや約180室の客室を備えたホテル、約900坪の商業施設のほか、最大収容人数約700名規模のホール、12室を備えた渋谷最大級(約330坪)のカンファレンス、さまざまなプログラムや企業とのコラボレーションの機会を提供するインキュベーションオフィスなどを備え、多様なワークスタイルを創造し、サポートします。

また、渋谷駅南側方面への歩行者ネットワークを整備し、首都高速3号渋谷線・国道246号による街の分断を解消するとともに、隣接する渋谷川および水辺空間を再生・整備することで、東急東横線の発着駅であったこの場所から代官山方面まで続く新たなストリートカルチャーの創出を目指します。

「渋谷ストリーム」の詳細は別紙の通りです。

■「渋谷ストリーム (SHIBUYA STREAM)」ロゴマーク



※施設ロゴマークにつきましては、商標登録出願手続き中です。

以上

■事業コンセプト

「クリエイティブワーカーの聖地」として次代の流れを生み続ける

クリエイティブワーカーをはじめとした、次の流れの芽をつくり出そうとする多くの人々を引き寄せ
 ここでの体験・交流・挑戦から生まれる新しいモノ・コトを世界に発信し
 ここから新たな次代の流れを生み出す

【開発テーマ】

①クリエイティブワーカーに選ばれるビジネス環境をつくる

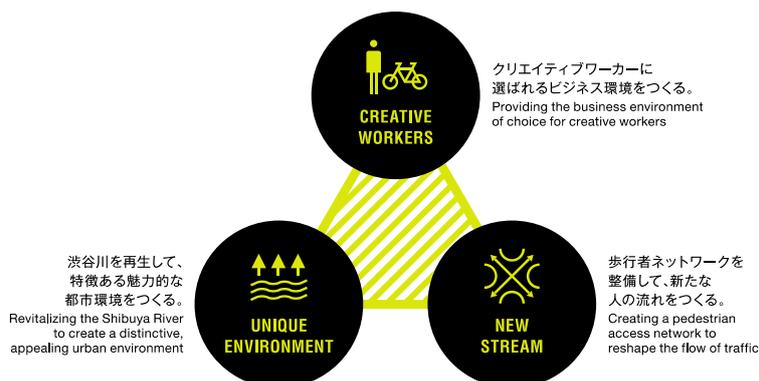
「渋谷ストリーム」を構成する用途には、オフィスやホテル、商業施設のほか、ホール、カンファレンス、インキュベーションオフィス、そして自転車通勤者向け施設や保育所など、多様なワークスタイルを支援する施設を予定し、仕事と遊びがボーダーレスなクリエイティブワーカーに選ばれる施設づくりを目指します。

②歩行者ネットワークを整備して、新たな人の流れをつくる

渋谷駅とつながる2階「国道246号横断デッキ」と、「JR 渋谷駅南改札(仮) (将来予定)※」とつながる3階「東西自由通路(将来予定)※」、そして、地下2階から2階までつながる吹き抜けの動線空間「アーバン・コア」によって、渋谷特有の谷地形を克服し、地上と地下に分散するすべての渋谷駅へダイレクトに直結する歩行者ネットワークを整備します。また「国道246号横断デッキ」は、旧東横線渋谷駅の高架橋を再利用し、旧東横線渋谷駅舎のアイコンであった「かまぼこ屋根」を再現する予定です。（※：渋谷駅中心地区基盤整備方針<渋谷区2012年10月>より）

③渋谷川を再生し、特徴ある魅力的な都市環境をつくる

「渋谷ストリーム」の正面を流れる渋谷川の水の流れを、官民連携により、清流復活水を活用した「壁泉」と呼ばれる水景施設の整備により再生します。さらに広場と緑豊かな約600mの遊歩道を整備し、潤いのある水辺空間を創出します。オープンカフェで食事をしたり、水辺の散策を楽しんだり、さまざまなアクティビティを誘発することで、川の流れとともに風景が移ろう、賑わいある新しいストリートが代官山方面までつながります。



■施設名称

「 渋谷ストリーム（ SHIBUYA STREAM ） 」

※STREAM(英) = 流れ、小川、絶え間なく続く、流れ込む

「渋谷ストリーム(SHIBUYA STREAM)」の前を心地よく流れる渋谷川や旧東横線渋谷駅の線路跡地のゆるやかなストリームの流れを表現するとともに、ここでの体験・交流・挑戦から生まれる新しいモノ・コトを世界に発信し、ここから新たな次代の流れを生み出し続けたい、という思いを込めました。

■施設ロゴマーク

ロゴマークを構成するアイコンは、新しいアイデアを表す「！」とここに集まる人「i」。ここに集う多様な「人(i)」のコミュニケーションから新しい「アイデア(!)」が浮かぶ瞬間、「アイデア(!)」と「アイデア(!)」の交差からさらに新しい「アイデア(!)」が生まれる瞬間を表現しています。また、このコミュニケーションや交差する様子を[× / クロス / 交差]として視覚的に潜ませ、非常にシンプルな形状ながら多面的な意味を包含させています。

ロゴマークには特徴的なカラーを採用しています。これは黄色にシアン(青緑色)を追加することで、色彩心理における黄色の「クリエイティブ」、「コミュニケーション」、「開放感」、「探究」と、シアン(青緑色)の「若々しさ」、「都心でも自然が多い環境」、「単色ではない微かな変化」を表現しています。

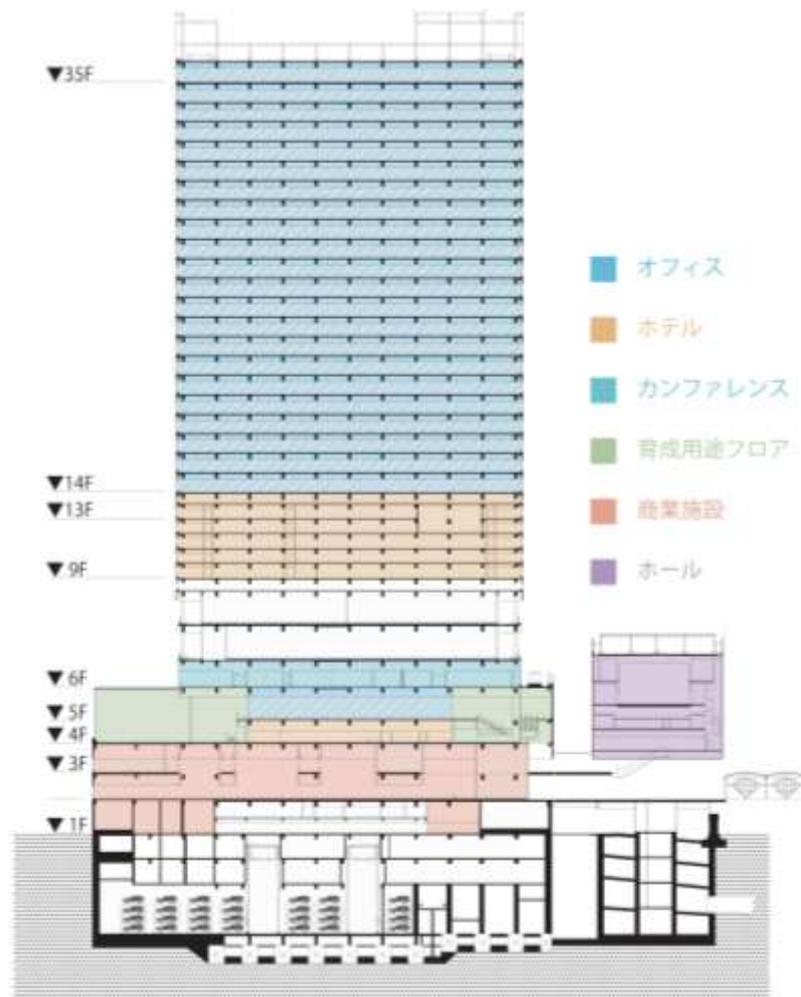


■ 施設デザイン

渋谷のアクティビティが息づくように、縦長のホワイトパネルをランダムに配置。渋谷の近未来を表象し、シンボルとして普遍的に輝くようにデザインされた、オリジナリティ溢れるファサードです。館内にはサイン機能と空間演出として、エスカレーターやエレベーターなどの動線を鮮やかにカラーリングしています。



■ フロア構成



【1-3F 商業施設】

商業施設コンセプトは「“シブヤ・カスタム”が集まるストリート」。総店舗面積は約900坪、約30区画の流行に左右されない“渋谷流＝シブヤ・カスタム”が集まる商業空間を目指します。ターゲットは既存のルールにとらわれず自分基準でカスタマイズやアレンジをする大人。1階は渋谷川沿いでゆったりと時を過ごせる水辺空間、2階は渋谷スタイルのモノ・コトが通路にもしみ出す路面感覚の店舗が軒を連ねるストリート、3階は会話を楽しむ大人たちの溜まり場を目指します。自然に生まれるコミュニケーションを大切にし、お客さまとともにこれからの“シブヤ”をつくっていきます。



【4F インキュベーションオフィス、サイクルカフェ、多目的広場】

◆インキュベーションオフィス

クリエイター向けのコワーキングスペースとスモールオフィスで構成され、さまざまなプログラムや企業とのコラボレーションの機会を創出・提供します。

◆サイクルカフェ

新たなワークスタイルとして自転車通勤をサポートし、リフレッシュや趣味を通じて交流できる場を提供します。

◆多目的広場

早朝や夜間に気軽に運動をし、身も心もリセットできる、心地よい広場空間を用意しています。



【6F カンファレンス】

渋谷エリア最大級の大きさ(約330坪)を誇り、オフィスロビーからもダイレクトにアクセスできます。大中小さまざまな大きさの12室の会議室を備え、本会場と控室といった複数室利用にも対応することで、ビジネスからパーティまで幅広いシーンでご利用いただくことができます。オフィスロビーと融合したデザインを採用し、利便性と機能性を兼ね備えるカンファレンスです。

【9-13F ホテル】

新しい“渋谷カルチャー”を発信する、客室数約180室のシティホテル。運営者は、株式会社東急ホテルズを予定しています。クリエイターの感性を刺激する客室で、国内外から訪れる高感度なお客さまをお迎えします。4階にあるホテルロビーは、クリエイターが集まるインキュベーションオフィスやサイクルカフェと一体的につながり、カジュアルで賑わいの溢れる交流のハブとなります。



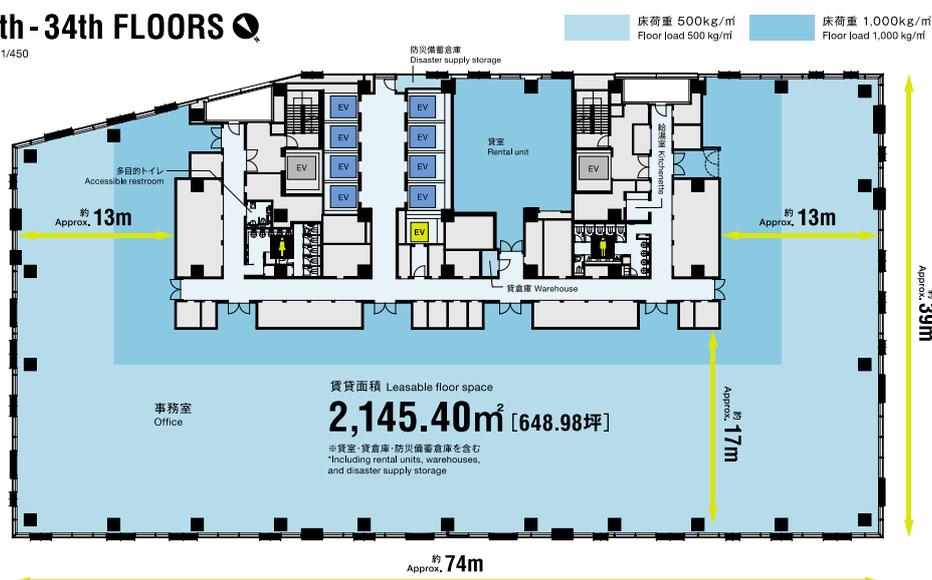
【14-35F オフィス】

渋谷エリア最大級の総賃貸可能面積約14,000坪(1フロア約640坪)を誇り、多様なニーズに応えるフレキシブルなオフィス空間を提供します。クリエイティブワーカーが心から気持ち良く活動できる場所を、常識にとらわれずに自由な発想でデザインしました。5階のオフィスロビーは旧東横線渋谷駅を思わせるアーチ状のルーフを架け、4階のインキュベーションオフィスやサイクルカフェと吹抜けで緩やかにつながる、渋谷らしいアクティビティが感じられる空間構成としています。また車寄せからのオフィス直通動線を確保するとともに、都市ガスによるバックアップ電源対応等災害の事業継続性(BCP)にも対応した高水準のオフィススペックを実現します。



27th - 34th FLOORS

Scale: 1/450



【ホール】

ライブハウスが日本一集約する渋谷のエンタテインメントをリードする場として、週末はコンサートを中心としたライブを上演する予定です。収容人数はスタンディングで約700名。ガラス張りの外観と2層にわたるホワイエを備える特別な空間は、新商品発表会やファッションショーなどビジネス用途にも最適で、渋谷の新たな情報発信拠点を目指します。

【渋谷川・広場】

「渋谷ストリーム」の前に顔を出す渋谷川の水の流れを、官民連携のもと、清流復活水を活用した「壁泉」と呼ばれる水景施設の整備により再生します。また、緑豊かな遊歩道を整備することで、大階段前の広場から並木橋の先まで約600m続く、潤いのある水辺空間を創出します。

そして渋谷川上空には、川のせせらぎが感じられる2つ広場を整備します。街と連携したさまざまなイベントを行い、賑わいのある渋谷の新しいオアシスを目指します。



※本ニュースリリースに掲載されているパースは完成予想図 CG です。今後変更となる場合がございます。

別紙 2

■施設概要

事業主体 東京急行電鉄株式会社、有限会社鈴基恒産、名取 康治、名取 政俊、山善商事株式会社、
叶不動産株式会社、渋谷丸十池田製パン株式会社、有限会社清風荘平野ビル

所 在 東京都渋谷区渋谷三丁目21番 外

用 途 事務所、店舗、ホテル、ホール、駐車場等

延床面積 約116,700㎡

階 数 地上35階 地下4階

高 さ 約180m

設 計 者 株式会社東急設計コンサルタント

デザイナー・アキテクト: 小嶋一浩 + 赤松佳珠子
／シーラカンズアンドアソシエイツ(CAt)

施 工 者 渋谷駅南街区プロジェクト新築工事共同企業体
(東急建設株式会社・株式会社大林組)

予定工期 2015年8月～2018年夏

開 業 2018年秋

